

舞鶴市の予算内容



はじめに、平成 29 年度一般会計の予算の内容について家計に例えながら分かりやすく説明します。

①「まいづる家」の家計簿

平成 29 年度一般会計の予算約 346 億円を、月収 34 万 6,000 円の「まいづる家」の家計簿に例えて説明します。

今月の家計は、食費や医療費など簡単には減らせない支出が増える一方で、収入を見てみると、昨年よりも給料が減る見込みです。

教育費などの子どもの未来のための投資といった、必要な支出をまかなうため、親からの援助やローンによる借り入れのほか、貯金の取り崩し額を一時的に増やす予定にしています。

なお、昨年に大規模な家の増改築や修繕を行ったことから、今月はこうした支出は減る見込みです。

※1億円を「1,000円」に例えています。また、()内は実際の市の予算の歳入・歳出の科目等です



子どもの教育費など、次の世代のために必要な投資を行いながら、健全な家計を維持するためにやりくりをしています。

収入	支出
計 346,000 円 (一般会計歳入合計)	計 346,000 円 (一般会計歳出合計)
自分の給料 (市税、地方交付税など) 187,000 円	食費 (人件費) 69,000 円
親からの援助 (国・府支出金) 78,000 円	医療費 (扶助費) 82,000 円
家賃収入 (諸収入、使用料や分担金、財産収入など) 26,000 円	光熱水費や日用品の購入 (物件費) 44,000 円
貯金の取り崩し (繰入金) 22,000 円	子どもの教育費や仕送りなど (繰出金、投資及び貸付金、補助費など) 79,000 円
ローンによる借り入れ (市債) 33,000 円	家の増改築や修繕費 (建設事業費、維持補修費) 37,000 円
	ローン返済 (公債費) 34,000 円
	貯金、その他雑費 (積立金、予備費) 1,000 円

②「市債」と「基金の繰入額」の推移

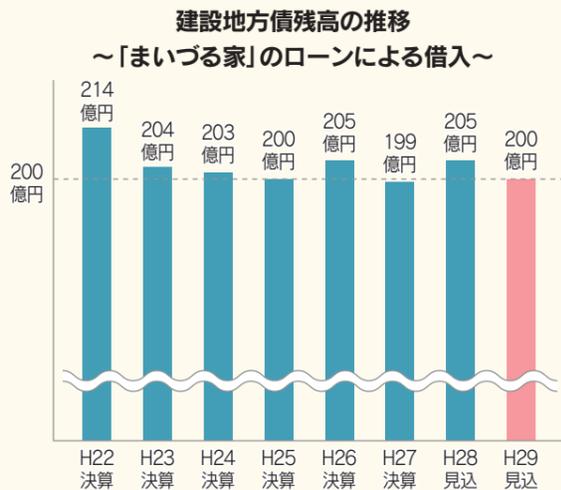
「市債」には、「建設地方債」と「臨時財政対策債」の2つがあります。ここでは、家計でいう家の増改築等の費用を補うローンである「建設地方債」残高の推移を表しました。

右のグラフのとおり、建設地方債の残高を総合計画の目標値である「200 億円」以下に抑えるように努めています。

平成 28・29 年度は、予算額となっており、決算時にはさらに減少する見込みです。

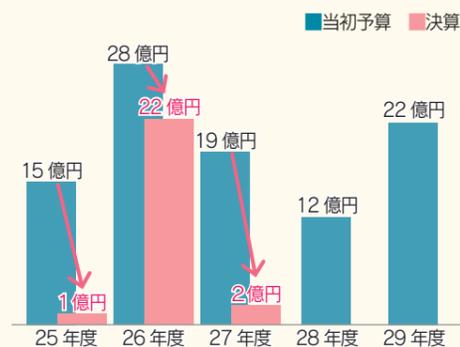


これ以上ローンの残高が増えないように、返済額よりも借入額が少なくなるようにしています。



基金の繰入額の推移

～「まいづる家」の貯金の取り崩し～



※平成28・29年度は、決算額が確定していないため記載なし

左のグラフは、基金繰入額の当初予算と決算を比較したものです。予算に比べて、決算時の繰入額は大きく減少していることが分かります。これは、1年間の行政活動を通じて、経費の節約と収入の増加といった「歳出の削減と歳入の拡大」に取り組み、基金繰入額を減らす努力をしているためです。なお、平成 26 年度は舞鶴市が飛躍するための投資として、子育て交流施設、保育所の統合整備、福祉専門学校の誘致などに基金を積極的に活用しました。

基金は貯め込むだけでなく、未来への必要な投資や取り組みを進めるため今後も大切に活用していきます。平成 29 年度も「まいづる家」の貴重な財源を大切に使いながら、まちを元気にする取り組みを進めていきます。それでは、次のページから主な取り組みについて説明します。



平成29年度 舞鶴市の予算

舞鶴版・地方創生の実現に向けて ～まちづくりの重点事項を「創意工夫」で推進～

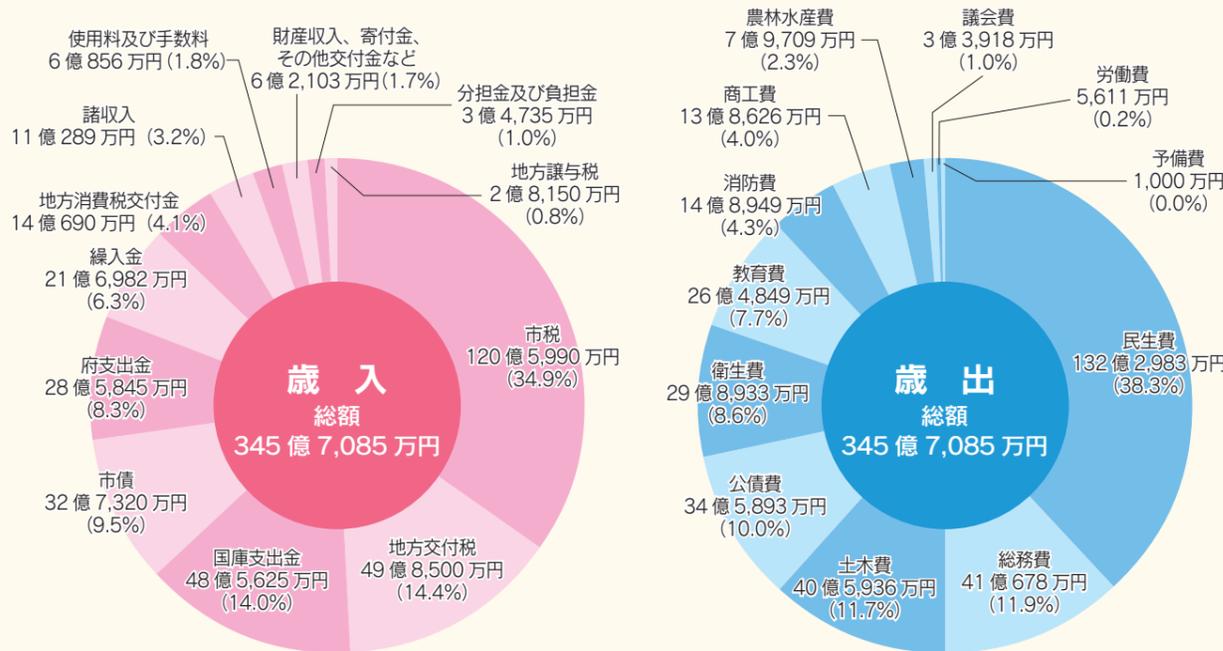
本市が「舞鶴版・地方創生」の目標に掲げる「交流人口300万人、経済人口10万人都市・舞鶴」の実現に向け、昨年度は「飛躍・行動元年」と位置付け、「赤れんが」を活かしたまちづくりや「京都舞鶴港」を核とした人流・物流を図る取り組みをはじめ、「京都府北部5市2町による広域連携」による「海の京都DMO事業」、「圏域の産業振興」、「移住・定住の促進を図る連携事業」に取り組むとともに、「地域医療の充実」など、さまざまな事業を進めてきました。

平成29年度は、これまでの取り組みの実績を活かし、目標を実現するため、「心豊かに暮らせるまちづくり」、「安心のまちづくり」、「活力あるまちづくり」の3つのまちづくり重点事項を「創意工夫」で推進します。

「平成29年度の予算」は、歳入で固定資産税等の市税や地方消費税交付金等の一般財源が減少する中、經常的な事務費の削減、建設地方債の発行を起債残高の目標である200億円以下に抑えることで、持続可能で安定的な財政運営を維持しつつ、3つのまちづくり重点事項に関する事業を推進するため、必要な事業には積極的に投資する予算編成を行いました。

次のページから、予算の内容や主な事業についてご紹介します。

一般会計	345 億 7,085 万円	前年度との比較 △4 億 7,076 万円
------	----------------	-----------------------



特別会計	247 億 70 万円	前年度との比較 △5 億 5,328 万円
国民健康保険事業会計	103 億 3,402 万円	△1 億 914 万円
簡易水道事業会計	4 億 6,346 万円	△5 億 1,704 万円
貯木事業会計	217 万円	114 万円
下水道事業会計	40 億 8,220 万円	△4 億 1,658 万円
駐車場事業会計	4,776 万円	△5 万円
介護保険事業会計	85 億 4,930 万円	4 億 2,898 万円
後期高齢者医療事業会計	12 億 2,179 万円	6,299 万円
公営企業会計	39 億 8,139 万円	前年度との比較 △6 億 7,832 万円
水道事業会計	29 億 7,780 万円	△6 億 3,972 万円
病院事業会計	10 億 359 万円	△3,860 万円

※当初予算の詳細な内容は、市ホームページでも紹介しています